

NEWS RELEASE

2026年9月7日

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)の プレイベント・サステナビリティレポートを発行 ～持続可能な社会とレガシー創出に向けた取組を発信～

GREEN×EXPO協会（正式名称:公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会、会長:筒井義信、所在地:横浜市中区）は、2026年9月7日(月)、GREEN×EXPO 2027のSDGsへの貢献と地球規模課題の解決に向けた取組を発信するとともに、これまでの推進事項と今後の準備・検討事項を取りまとめた「プレイベント・サステナビリティレポート」を策定し、ホームページで公表しました。

会期前に公表することで、国際園芸博覧会の歴史やレガシーの継承に向けて、参加国・地域、出展企業・団体などの幅広いステークホルダーに共有し、取組の輪を広げ、共創による価値創出とレガシーの形成を目指します。



GREEN×EXPO 2027は、「幸せを創る明日の風景」をテーマに掲げ、自然・環境・人との共生を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。気候変動や生物多様性の損失など地球規模の課題が深刻化するなか、国際博覧会にも環境・社会・経済の側面を統合した持続可能な運営と、その成果の発信が求められています。

こうした考えのもと、GREEN×EXPO協会では、博覧会の準備段階からサステナビリティを重要な柱として位置付け、SDGs達成への貢献やレガシー創出に向けた取組を進めています。

また、AIPH（国際園芸家協会）の規則等に基づき策定している「サステナビリティ教育計画」及び「サステナビリティコミュニケーション・エンゲージメント計画」を更新し、AIPHに提出しました。

■ 1 公表資料

- (1) プレイベント・サステナビリティレポート（概要版・本文：日本語・英語）
- (2) サステナビリティ教育計画（概要版・本文：日本語・英語）
- (3) サステナビリティコミュニケーション・エンゲージメント計画（概要版・本文：日本語・英語）

■ 2 プレイベント・サステナビリティレポートの目次

- 1 本博覧会について 2 サステナビリティ 3 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献

■ 3 公表資料のURL

<https://expo2027yokohama.or.jp/about/sustainability/>

GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正 式 略 称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエキスポニーゼロニーナ)
開 催 場 所	横浜市瀬谷区・旭区（旧上瀬谷通信施設）
開 催 期 間	2027年3月19日(金)～ 2027年9月26日(日) 192日間
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
ク ラ ス	A1(最上位) クラス(AIPH承認+BIE認定)
有料来場者数	1,000万人以上
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/



公式マスコットキャラクター
「トウキントウキ」